

第61回試験研究成果発表会（林業）発表概要

【動画配信期間】 令和6年2月28日（水）～令和7年1月5日（日）

【場 所】 YouTube「千葉県公式セミナーチャンネル」

発表1 成果発表

地上レーザ計測やドローンを活用した森林調査技術

森林研究所 福島 成樹

千葉県では、令和元年の台風被害を受けて重要インフラ周辺の森林整備が急務となっており、森林調査や森林整備の効率化のためにレーザ測量やドローン等の新しい技術の早急な導入が求められています。そこで、地上レーザ計測、ドローンの活用と導入について調査を行いました。地上レーザ計測は、機器が高額で適用できない森林もありますが、毎木調査の時間短縮に効果があること、ドローンは、事業地の面積測定や完了確認、気象害により発生した崩壊地の計測等に活用できることが明らかになりました。



地上レーザ計測による3D点群データ



ドローンを使って作成したオルソ画像と拡大図

発表2 成果発表

マテバシイにおけるNCSくん蒸薬剤のカシノナガクイムシ殺虫効果

森林研究所 福原 一成

千葉県では県南部のマテバシイ林でナラ枯れが大規模に発生しています。ナラ枯れはカシノナガクイムシによってナラ菌が木の内部に運び込まれることによって起こります。そこで、カシノナガクイムシを駆除するため、令和2年に新たにマテバシイに適用拡大されたNCSくん蒸薬剤の殺虫効果を検証しました。その結果、マテバシイにおいてもカシノナガクイムシに対する十分な殺虫効果が得られることを確認しましたので紹介します。



カシノナガクイムシ成虫



NCSくん蒸薬剤の注入